

# 箱根町の財政問題分析 ～歳出分析～

伊集ゼミ3年

## <報告の概要>

・箱根は財政問題を抱えており、住民に必要なサービスを提供することが困難になっている。

・図1より、箱根町の歳入規模は大きいいため、それで賄えない歳出とは何かを分析した。

・箱根町の歳出の中でも他団体とは別の傾向を示す衛生費、消防費、教育費を、近隣・類似団体との比較を中心に分析した。

## <各調査研究の成果>

### ・衛生費

観光による影響で事業系ごみの量が近隣団体比で5~14倍多く、結果としてごみ処理にかかる費用が多分にかかっている。箱根町は、ごみ処理広域化をはじめとする、ごみ処理の効率化やりサイクルに向けた具体的な施策を始めている。

### ・消防費

箱根町は管外居住者の緊急搬送が全国平均に比べて多いという観光による要因と、地形的制約から消防隊や救急隊を多く配備する必要や車両の台数を多く確保する必要があり、歳出規模が大きくなっている。

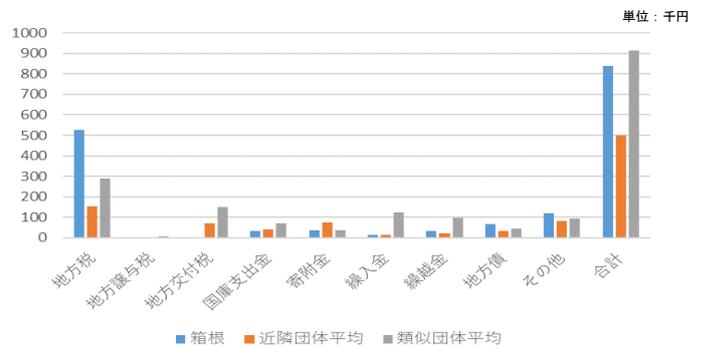
### ・教育費

地形や人口分布が理由で、小学校の数が多くスクールバスなどの費用も発生すること、文化財や旧街道整備の委託料や公民館の補修費が大きくなっていることの2つが課題である。観光地としても有名な箱根関所に関しては歳出が大きい、観覧料収入で賄えているという事実もある。

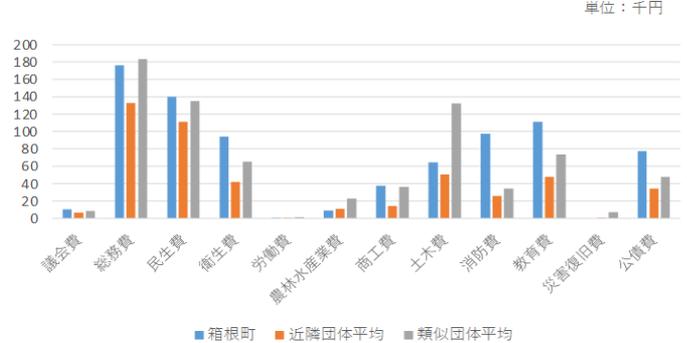
## <結論>

箱根町の財政問題は、観光が原因の歳出だけでなく、消防の配置・学校の配置などの地理的要因に加え、公共施設の老朽化に伴う整備事業などの一般的な要因も大きな影響を与えている。これらの費用や政策のあり方について、住民と町が一つになり、共に議論していく必要があるのではないか。

(図1) 箱根・近隣団体・類似団体人口一人当たり歳入



(図2) 箱根・近隣団体・類似団体人口一人当たり歳出



出典：箱根町、近隣団体、類似団体2014～2018年財政状況資料集